

活動報告書

記録者	五十嵐正行
天気	晴れ時々曇り
気温	

作業日時	2013年7月21日				天気	晴れ時々曇り		気温	
場所	地区	奥多摩海沢	場所	貯水池横の林地					
活動種別	定例活動		自主活動		体験の森		特別活動	○	
参加者	鈴木、大隈、牛山、穂波、藤川、小井沼、長田、沢井、勝屋、長谷川、渡辺、石山、五十嵐							計13名	
作業内容	小学4年生林業体験								
作業道具	トンガ	カケヤ	ツルハシ	チルホール	チェーンソー				
動力機器	チェーンソー								
操作者	刈払い機								

作業の具体的な様子・内容（写真添付可）

- 奥多摩駅から今回の林業体験現場まで小学生達は30分強で歩いてきた。
- 着くと早々に、あらかじめ用意しておいたブルーシートや持参のレジャーシートに座り、休憩兼昼食。
- 食事を30分ほどで終わらせたのち、身支度とヘルメット装着。毎年、長袖長ズボンを未持参、又は、宿行のザックに入れてしまう例が散見。ヘルメット装着は班ごとに手取り足取り。枯枝落下やツタウルシのリスクを説明し食事中は林内立入りを禁止した。
- 60名強の生徒を約10名6班に分け、山に入る。林内で注意事項を説明（ヘルメット装着の意味、クマ、ハチ、ヘビ、ツタウルシなどの危険、林内には道は無い、班の外に行かない、間伐のリスク、等）。
- 次は伐倒のデモを行う。担当は勝屋長谷川班（解説付きで、伐倒、枝払い、皮むきまで）。
- デモを見てから、各班所定のエリアにて体験作業開始。ノコギリの使い方、ロープ上げ、を体験ののち、いよいよ間伐体験に入る。（いざやってみると大変だった、との感想が多かった。）スリングと滑車を使い伐倒方向をずらしてのロープ引きを行う。今回は動滑車は使わず。ヒノキ林のため予定通り？掛かり木となるも、各班それぞれ工夫し、無事伐倒終了。
- 伐倒後は、枝払い、皮むき、コースターづくり。
- 学校の発案で、集中力が切れてきた生徒が出てきたので少し早めの終了、としたが、食事場所に全員が戻ったのは、結局、予定時刻の15時だった。
- 減多に体験できない間伐体験、ヒノキの樹液の味、お土産のコースター、ヒノキの香り、など生徒たちの五感を十分に刺激させた半日だった。当会にとってはリスクを背負ってのイベント実施であり、生徒たちには今日の体験が今後の糧になることを期待したい。

ヒヤリハット・技術向上ノウハウ・参加者の声・感想等

（項目）	（説明）
	枝払い皮むき時に、生徒が浮いていた材の下に足を入れていたところ、その材が下に落ちてしまい、生徒の足を圧迫してしまった。大事には至らなかったが、枝払い皮むき時は要注意との事前喚起が功を奏さなかった。

送り事項

活動報告書

【活動の状況】

